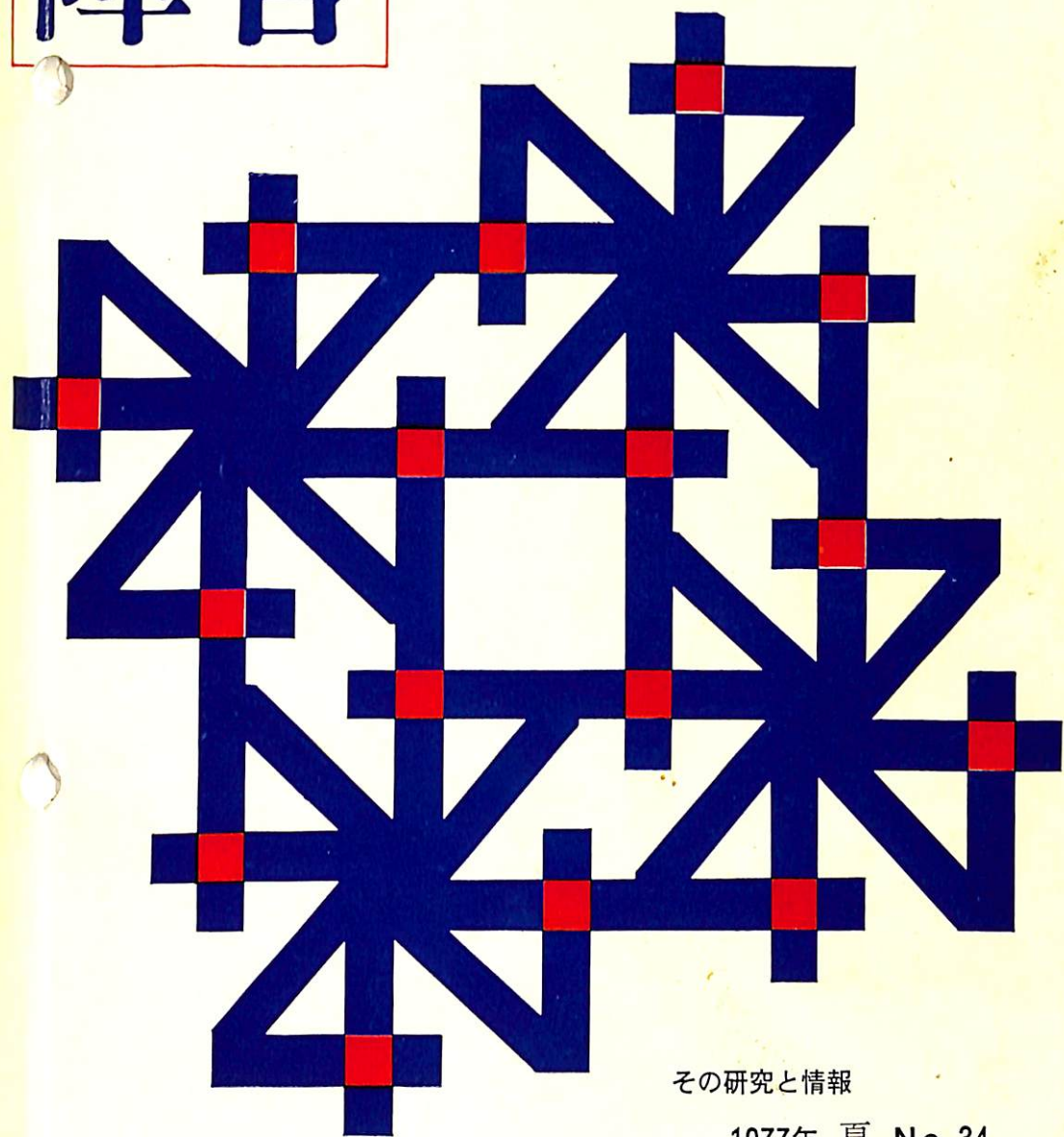


視覚 障害



その研究と情報

1977年 夏 No. 34

ISSN 385-7476



創刊40年／青版1000点刊行記念

岩波新書

新装〈黄版〉刊行

5月～6月一斉15冊発売！

近代民主主義の歴史

福田 欽一 著

近代民主主義の歴史を克明にたどりつつ、現代社会におけるその意義を問ひ直すことで、新たな展望をひらく。 二八〇円

哲学の現在

中村雄二郎 著

生きることを考えること―日常の言葉を使い、現代の哲学が取り組んでいる問題を吟味し、知識と知恵の統一を回復。 二八〇円

世界史のなかの明治維新

芝原 拓自 著

明治維新の変動期における政府の諸政策に影響した国際的要因を検討し、維新史の把握に広い視野を与える。 二八〇円

近代経済学の再検討

宇沢 弘文 著

批判的展望―新古典派とケインズの理論を検討し、現代社会の諸問題に対応可能な経済学の再構築を企図する。 二八〇円

空間と時間の数学

田村 二郎 著

「市民のための数学」を提唱する著者が、ユークリッド空間から特殊相対論の時空世界までを体系的に解説する。 二八〇円

国際経済の政治学

渡部 経彦 著

ECやIMF等の機能を具体的に分析し、国民国家の存在を超えた望ましい経済の国際的調整の可能性を探究。 二八〇円

日本の耳

小倉 朗 著

日本の音楽の基底にある固有の音の世界とは何か。話し言葉をはじめあらゆる文化領域に鋭い観察がおよぶ。 二八〇円

ヒンドゥー教とイスラム教

荒松 雄 著

南アジア史における宗教と社会―二つの異なる宗教が接し、対立・共存してきた歴史を描き、その意味を解明。 二八〇円

世界の公害地図(上)

都留 重人 編

二十数ヶ国に及ぶ広汎な現地調査に基づいて地球の汚染の実態と公害と闘う人々を描く現状報告。(全二冊) 各二八〇円

社会科学における人間

大塚 久雄 著

デフォー、マルクス、ヴェーバーの理論の中から人間類型を捉え、社会科学における人間の問題を追及する。 二八〇円

詩への架橋

大岡 信 著

詩人である著者は、青年期に読んだ「かずかずの詩」の詩集の意味を、「現在の眼」で自ら問い返す。 二八〇円

日本国家の形成

山尾 幸久 著

「日本書紀」の厳密な史料批判に基づいて東アジア世界における日本古代国家形成に関する大胆な仮説を提示。 二八〇円

国民代表の政治責任

杉原 泰雄 著

ロッキード事件で暴露された日本政治の極端な無責任体制の要因と、その対策を憲法学の立場から考察する。 二八〇円

日本人の死生観(上)

加藤 周一 著
M・ライシュ
R・J・フットン
矢島 翠訳

近代日本の六人の典型的人物の生と死に対する態度をそれぞれの時代潮流において考察した労作。(全二冊) 二八〇円

岩波書店



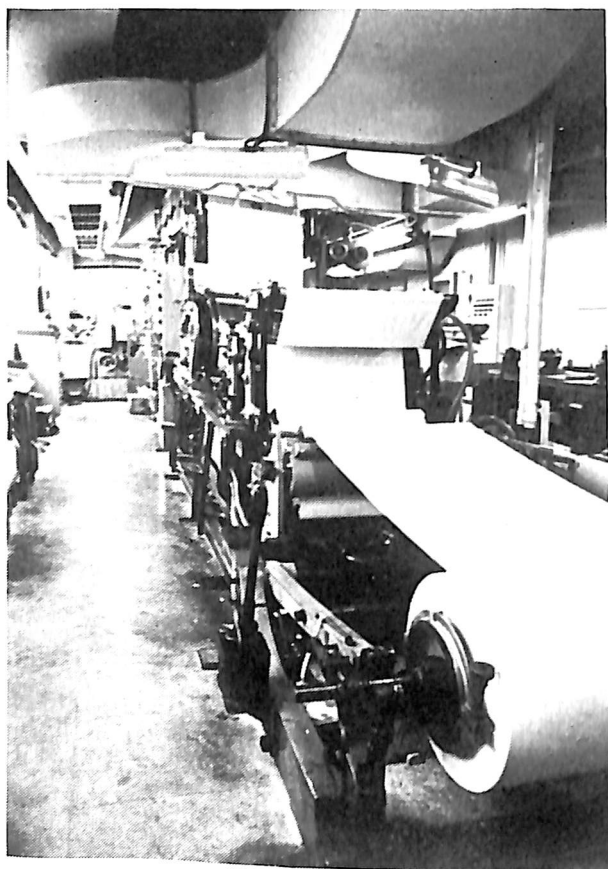
東京・千代田・一ツ橋
振替〈東京〉6-26240

点字印刷の仕組



点字製版：製版機で亜鉛板に凹凸をつける。

(東京ヘレンケラー協会点字出版局)

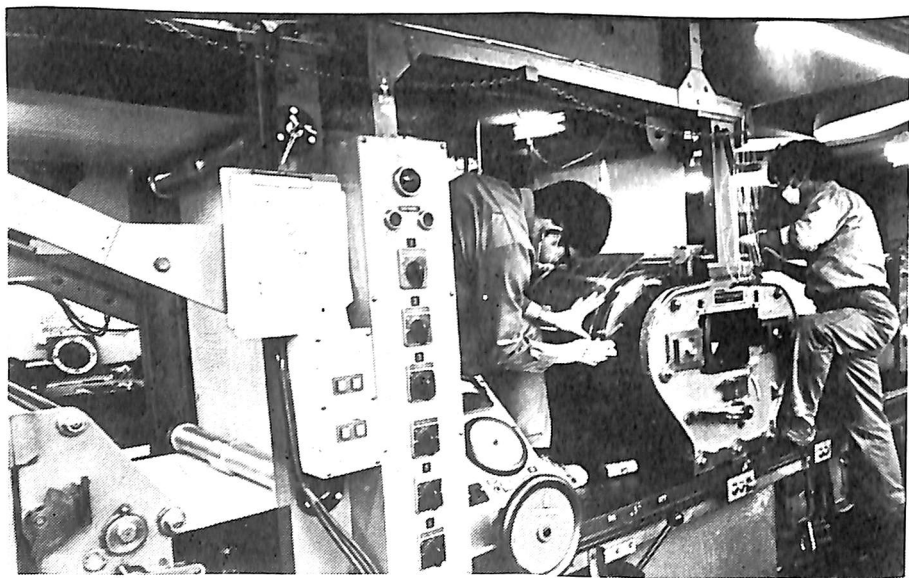


固型点字印刷機

英国製・紙の上にインキ(ビニール系)を置き、これを加熱、固型化する。印刷スピードは1分間に15部ときわめて速く、大量印刷物にその威力を発揮する。

(東京ヘレンケラー協会
点字出版局)

固型点字印刷機への重鉛板取付作業



輪転式で1時間に
2,000枚印刷できる。
発行部数12,000の
「点字毎日」を刷る
には欠かせない印刷
機



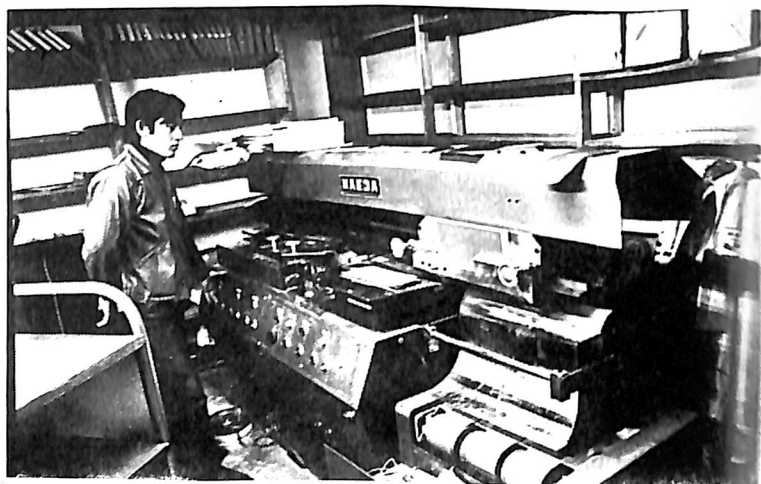
ともに自社製作の点字印刷機



点字教科書などの
製作に大活躍の日本
ライトハウス製印刷
機。プレスを自動的
に2度くり返して印
刷を確実にする。



普通のローラー式点字印刷機
B5版の点字印刷にはもっぱらこれが用いられる。人力による最も原始的なもの。



自動のりとじ製本機

1時間に100冊強、製本できる。他に手作業によるのりとじ及び糸とじ製本がある。

(日本点字図書館)



コンサイス英和辞典の活字書と点字書（日本ライトハウス発行）の比較。
活字書1冊に対して、点字書71冊。値段は約20倍。容積は約400倍。

目 次

1977年 夏 No. 34

2 ページ評論.....	酒井 悌	2
日本の点字.....	木塚 泰弘	4
オプタコン(Optacon)を用いた漢字読みの 指導について.....	新谷 守	16
普通幼稚園に就園する盲幼児の指導 (6)	香川 すみ子	31
あの人この人 入学そして就職 石川准さんと長岡英司さん.....		44
インフォメーション・コーナー.....		49
施設をたずねて 新装なった東京点字出版所		53
進学・就職		57
内外文献		60
編集後記		64

立ち読み版はここまでとなっております。

続きをお読みになりたい場合には
社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター
までお問い合わせください。

編 集 後 記

視覚障害者の読書権とコミュニケーションの拡大がさげばれ、近年、カセットテープの利用が極度にたかまってきたのは、誠によろこばしいことであります。しかし、その反面視覚障害者の教育はもちろん、社会生活、職業生活の上でも欠くことのできない点字の問題がともすれば軽視されがちな傾向にあります。この点から、あえて点字の問題をとりあげてみました。

なおまた、オプタコンの利用がすでに実践的研究の段階から、実用化の時代に入り、カタカナ、ひらがなはもちろん、漢字のよみとりの問題にまで進んできましたので、オプタコンによる漢字よみとりの指導の実際を紹介することといたしました。

なお、連載しておりました大沼玲子先生訳の“自立のために”は都合により本号は休載させていただきました。次号では従前通り掲載を予定しております。

(松井新二郎)

視 覚 障 害 1977年 夏 №34

年間購読料 1,500円 (送料とも)

発行日 1977年 7月 1日

発行者 本 間 一 夫

編集者 松井 新二郎

発行所 日本盲人福祉研究会

〒532 大阪市淀川区塚本 3丁目12番
6-301

電話 (06) 309-2100

振替口座 大 阪 40270

印刷所 合同印刷株式会社

〒130 東京都墨田区業平2-9-13
電話 (622) 1925番 (代表)

協賛団体 日本点字図書館